

令和8年第12回公安委員会会議録

日 時	5月14日（木曜日）	自午後 1時30分 至午後 4時25分	場 所	公安委員会室
会 議	公安委員	甲斐委員長 野口委員 小野委員 宮尾委員 吉田委員		
出席者	警察職員	警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長		

第1 聴聞等についての決裁

聴聞7件、意見の聴取7件についての決裁（運転免許課）

第2 定例会議

1 令和8年版「肥後っ子のシグナル」について

警察本部から、熊本県内の少年非行情勢や特徴点、被害状況等を取りまとめた令和8年版「肥後っ子のシグナル」の発行について報告が行われた。

公安委員から「PDFファイル化してホームページからダウンロードできるようになったことで周知の幅が広がった。こういったことに関心がある人は情報にたどり着きやすくなったが、関心がない人への情報発信が今後の課題だ。」旨の発言があり、警察本部から「少年犯罪・少年非行については、マスコミ各社も関心を持っており、これらと連携して周知に努めたい。」旨の説明があった。

また、公安委員から「刑法犯少年や特別法犯少年の年別推移をみると、令和3年以降、右肩上がりに増えているが、その分析は行っているか。」旨の質疑があり、警察本部から「刑法犯全体の認知件数が増えている状況下で、総量が増えているのは乗り物盗や万引きで、少年の検挙件数も自転車盗や万引きが多い。この点に着目して自転車盗の発生が多い場所における警戒の強化等、ピンポイント的な対策を強化している。」旨の説明があった。

このほか、公安委員から「体感治安アンケートに『肥後っ子のシグナルを見たことがあるか』という問いを設け、周知度の確認に用いてはどうか。」旨の発言があった。

2 ドローンの運用に関する協定の締結について

警察本部から、捜査の合理化・迅速化を目的とした民間ドローン運用会社（2社）との協定の締結について報告が行われた。

公安委員から「協定を締結する2社に役割分担があるのか。」旨の質疑があり、警察本部から「2社はそれぞれ熊本所在の会社と東京所在の会社で、日頃は熊本の会社に出動要請を行うが、事案に応じて、高度な機材を有する東京の会社に出動を要請する場合がある。」旨説明があった。

また、公安委員から「捜査段階でも必要であれば、積極的にドローンを活用すべきだと思う。」「今後、ドローンを警察の装備として用意し、訓練を重ねていくということが大事だと思う。」旨の意見があった。

3 「熊本県渋滞解消推進本部会議」における警察報告事項について

警察本部から、令和8年5月22日開催予定の熊本県渋滞解消推進本部会議における報告事項として、信号制御の最適化等の取組状況について報告が行われた。

第3 報告・決裁等

- 1 アナログ規制の見直しを踏まえた熊本県公安委員会規則の改正の決裁（警務課）
- 2 苦情（R7. No.28）の調査結果の決裁（組織犯罪対策課）
- 3 熊本県公安委員会事務専決規則の一部改正及び特定金属くず買受業法令事務取扱規則の制定の決裁（生活環境課）
- 4 要望書受理の報告（警備第一課）
- 5 令和8年公安委員会会議録（第9回～第11回）の決裁（公安委員会事務室）
- 6 苦情（R8. No.6）の受理の決裁（公安委員会事務室）
- 7 警察署協議会委員の辞職承認等の決裁（公安委員会事務室）